

次世代育成支援対策行動計画の実施状況（平成20年度の報告）

●次世代育成支援対策行動計画とは・・・

次世代育成支援対策を迅速かつ重点的に推進し、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される社会の形成を目的とする「次世代育成支援対策推進法」が平成15年に制定されました。この法律では、平成17年度から26年度までの10年間において、各市町村が取り組むべき施策を「市町村行動計画」として策定し、それに基づき、推進していくものとされています。

菊川市でも、平成17年に市の行動計画として「親と子の笑顔あふれる菊川子育てプラン」を策定し、その推進を図っています。

なお、計画は10年間ですが、中間である5年をもって、計画の見直しをすることとなっており、前期（平成17～21年度）、後期（平成22～26年度）に分けられます。

●行動計画の実施状況について

次世代育成支援対策推進法では、行動計画の実施状況について、毎年公表することが市町村に義務付けられています。菊川市では、市の前年度決算が確定した後に、行動計画の実施状況を取りまとめ、「次世代育成支援対策地域協議会」への報告を経て、市ホームページに掲載し、公表することとしています。

※今年度は、平成21年8月18日に協議会を開催し、報告を行いました。

○次世代育成支援対策推進法（平成15年7月16日 法律第120号） ※抜粋

第1条 この法律は、我が国における急速な少子化の進行並びに家庭及び地域を取り巻く環境の変化にかんがみ、次世代育成支援対策に関し、基本理念を定め、並びに国、地方公共団体、事業主及び国民の責務を明らかにするとともに、行動計画策定指針並びに地方公共団体及び事業主の行動計画の策定その他の次世代育成支援対策を推進するために必要な事項を定めることにより、次世代育成支援対策を迅速かつ重点的に推進し、もって次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される社会の形成に資することを目的とする。

第8条 市町村は、行動計画策定指針に即して5年ごとに当該市町村の事務及び事業に関し、5年を1期として、地域における子育ての支援、母性並びに乳児及び幼児の健康の確保及び増進、子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備、子どもを育成する家庭に適した良質な住宅及び良好な居住環境の確保、職業生活と家庭生活との両立の推進その他の次世代育成支援対策の実施に関する計画（以下「市町村行動計画」という。）を策定するものとする。

2 市町村行動計画においては、次に掲げる事項を定めるものとする。

- 一 次世代育成支援対策の実施により達成しようとする目標
- 二 実施しようとする次世代育成支援対策の内容及びその実施時期

3～4（略）

5 市町村は、毎年少なくとも1回、市町村行動計画に基づく措置の実施の状況を公表しなければならない。

6（略）

菊川市次世代育成支援行動計画実施状況【平成20年度実績】（概要版）

1. 「地域で支援 楽しく子育てできるまち」（地域における子育て支援）

- 保育所（家庭での保育に欠ける就学前児童の保育）・・・市内10園
 - ・延長保育、一時保育、地域活動事業の実施
- 放課後児童クラブ（対象：小学1～3年生）・・・7クラブ(8箇所)→9クラブ
 - ・市内小学校ごと1クラブを設置
- ファミリーサポート・・・提供会員3名、依頼会員 26名
- 児童館・・・年間利用者＝菊川児童館32,805人、小笠児童館19,825人
- 母親クラブ・・・2団体（60人）
- 地域子育て支援センター・・・2箇所（菊川、小笠）
 - ・子育て相談、すくすくひろば（移動開催）、講習会開催
- 家庭児童相談・・・延相談件数2,134件
- 新生児・乳児などの訪問指導・・・960件
- 情報の提供（子育て情報、健診・相談等の日程告知）

2. 「明るく元気な子を産み育てられるまち」（母性、乳児及び幼児等の健康の増進）

- 妊婦健診の助成・・・助成機会を2回→5回へ増加
 - ・受診率：1回目101.3%、2回目92.3%、3回目101.1%、4回目96.5%、5回目86.4%
- 予防接種（ポリオは集団接種、他は個別接種。接種率：87～100%）
- 乳幼児家庭訪問（出生時、外国人以外の全件訪問を目指して実施。384件）
 - ・訪問時に兄弟の様子の確認や相談を実施。幼児199件、療育関係5件
- 小学校参観会等での食育指導＝6小学校、放課後児童クラブ＝2クラブ
- 医療機関の状況（産婦人科・小児科）
 - ・市立病院産婦人科（2名の常勤と非常勤で対応）
 - ・他の市内産婦人科医療機関（1医療機関）
 - ・市立病院小児科（2名の常勤と非常勤で対応）
 - ・他の市内小児科医療機関（6医療機関）
- 乳幼児医療費助成（小学校就学前児童の医療費の助成。）56,377件

3. 「子どもがいきいきと学びあえるまち」

（子どもの心身のすこやかな成長に向けた教育環境の整備）

- 次世代の親教育（プレママサロン及びプレママ・パパサロン）12回、145人
- 療育教室「げんきっこ」。27回、延318人
- 子育て講座（4回72人）
- 子どものボランティア体験（延参加人数2,781人）
- 子どもの体験教室など（体験セミナー、地域文化体験教室）
- 地域子ども教室推進事業（4教室、159回、参加児童418人）
- スクールカウンセラーの充実
- 人づくりフェスタ開催、青少年街頭生活指導
- 図書館活動（ブックスタート事業、読み聞かせ活動、親子読書の集い）
- 児童のスポーツ振興（スポーツ少年団活動、各種大会の主催、共催、後援）

4. 「子どもが伸びやかに育つまち」（子育てを支援する生活環境の整備）

- 道路の安全設備（歩道、ガードレール、転落防止柵、カーブミラー）の設置
- 自治会と連携して防犯灯設置（66灯設置）
- 公園の充実（新設整備、安全対策）
- 図書館の児童向け蔵書の充実

5. 「子どもの安全を地域みんなで見守るまち」（子どもの安全の確保）

- 児童の交通安全推進（街頭指導、交通安全教室、通学路点検）
- スクールガード、ふれ愛さつ運動、危険箇所看板を設置、地区への呼びかけ

6. 「働きながら 安心して子育てできるまち」（職業生活と家庭生活との両立の推進）

- 子育て支援体制の充実（保育園、放課後児童クラブ）
- 父親の子育て参加促進（プレママ・パパサロン、お父さんの子育て手帳）

7. 「子どもの権利を大切にすまち」

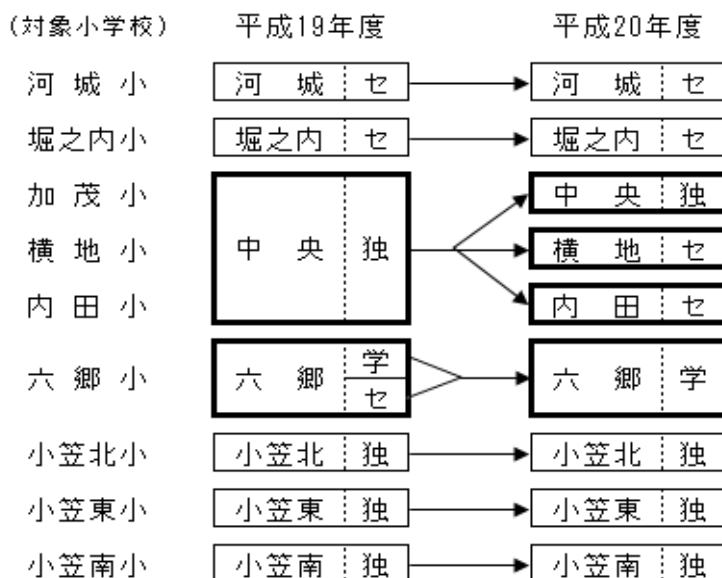
(要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進)

- 要保護児童対策地域協議会（個別ケース検討会：195ケース）
- 発達相談（延148名）
- 市内幼稚園、保育園の訪問（0～2歳児=12園、3～5歳児=17園：年2回）
- 療育教室「げんきっこ」（参加延人数318人）
- 特別支援教育巡回相談、学級・学校支援員の配置
- 障がい児の受け入れをする私立保育園に補助金
- 心身障害児放課後対策事業（たんぽぽ862回、ふれんずつばさ1,511回）
- 就学援助（学用品費、給食費等）＝小学生73人、中学生50人

8. 「温かなサービスで子どもを産みたくなるまち」(各種支援サービス)

- 障がい児支援に係る各種手当
- 児童手当（小学校6年までの児童を養育する保護者に支給）
第1、2子＝5,000円、第3子以降＝10,000円、※3歳未満は10,000円
支給対象者＝3,253人（H21年2月支払件数）
- 私立幼稚園への就園奨励費（対象園児＝324人、23,919,700円）
- 子育て優待カード事業（継続実施）

【参考】放課後児童クラブの再編



※独：独立棟、セ：地区センター内、学：小学校内

菊川市次世代育成支援行動計画実施状況 【平成20年度実績】 (詳細版)

1. 「地域で支援 楽しく子育てできるまち」(地域における子育て支援)

区分		取り組み内容(H17～H21)	平成20年度実績	担当課
1-1.地域における子育て支援サービスの充実	1-1-1.公共施設の利便性向上と活用	1-1-01-1 幼稚園や保育所などを地域に開放し、高齢者と子どもとのふれあいの機会づくりを提供する(保育所地域活動世代間交流)	・幼稚園では、地域の方・高齢者の方を招いての行事などを開催し、ふれあいの機会を設けている。また、地域に出かけ活動を行い、地域とのふれあいもしている。(学校教育課)	学校教育課 こどもみらい課
		1-1-01-2 地域の地区センターや公会堂を開放し、子どもの遊びや勉強スペースとして活用する	・地域による宿泊体験学習を地区センターを利用し、実施した。昨年同様、放課後子ども教室の実施に協力した。また、小中学生が気軽に立ち寄れる環境作りに努めた。(宿泊体験学習実施箇所:6地区センター)(地域支援課) ・放課後子ども教室の活動場所として地区センターを利用23回(社会教育課)	地域支援課 社会教育課
1-1-2.地域で子育て支援できるような環境づくり	1-1-02-1 地域、学校、家庭が連携を取り交流できる機会づくり		・地域ボランティアとして学校の授業や活動に協力していただいたり、学校行事に参加していただいたりして、交流の機会を設定した。学校評価をする際に、家庭や地域の意見を聴取した。(学校教育課)	学校教育課 こどもみらい課
	1-1-02-2 核家族の増加による地域コミュニケーション不足に対応するための交流機会づくり		・地域による宿泊体験学習を地区センターを利用し、実施した。(宿泊体験学習実施箇所:6地区センター) ・地区センターにおいて地域住民がふれあうイベントを企画し、実施した。	地域支援課
1-1-3.活動への積極参加ができない母親へのフォロー	1-1-03-1 訪問指導		・児童虐待防止事業の一環で「こんにちは 赤ちゃん事業」に取り組むこととなり、4か月までの乳児がいる家庭に訪問活動を行った。また、必要に応じ育てにくさのある乳幼児やハイリスクの妊婦、健診未受診者にも訪問活動を行った。訪問件数=960件	健康福祉課
	1-1-03-2 電話連絡		・育児不安の強いケースや健診未受診のケースに電話で受診勧奨や状況確認等を行った。また、電話による相談も実施した。	健康福祉課
	1-1-03-3 母親のストレス解消の場として、同世代が交流、話し合いできる場の提供(児童館事業)		・児童館利用者…菊川児童館=32,805人/年、小笠児童館=19,825人/年	こどもみらい課 児童館

区分	取り組み内容(H17～H21)	平成20年度実績	担当課
1-1-4.子どもに関するイベントの開催時期の配慮	1-1-04-1 働いている親が気軽に参加できるための、休日のイベント開催	・5月10日日曜日に親子のふれあいの場を創造するため「親子のつどい」開催。88人参加	こどもみらい課
1-1-5.各種相談や教室の開催時間や曜日の配慮	1-1-05-1 妊娠時に学べる出産や子育てに関する教室	・妊婦教室(プレママサロン)の実施。栄養士、歯科衛生士、助産師、保健師による生活指導、栄養支援、出産準備やグループワーク。延参加者数87人(託児6人)	健康福祉課
	1-1-05-2 働いている人に配慮した夜間や休日の子育て教室の開催時期の見直し	・夜間に両親教室を3回実施。参加者29組(58人)	健康福祉課
1-1-6.携帯メールなど多様なメディアを活用した子育て情報の提供	1-1-06-1 子ども用のサービス・情報の提供	・ホームページに子育ての情報を掲載した。	こどもみらい課
	1-1-06-2 予防接種や健診のお知らせをメールで提供する	・ホームページに各健診・相談等の日程(健康カレンダー)を掲載した。(企画政策課、健康福祉課)	健康福祉課 企画政策課
	1-1-06-3 保育所や幼稚園の情報提供を行う	・子育て支援センターに市内保育園、幼稚園の情報提供をおこなった。 ・保育園、幼稚園入園申込みの一覧表を作成し、利用者の利便性を図った。	こどもみらい課
	1-1-06-4 子育てに関する様々な情報提供	・子育て支援に係る情報パンフレット「子育てナビ」を年度更新し、窓口、市内児童館、図書館等に備え置いた(2000部作成)。	こどもみらい課
1-1-7.相談員体制の充実	1-1-07-1 家庭児童相談室(家庭相談員の配置)による子どもの心のケア	・延相談件数:2,134件(内新規受付80件)	こどもみらい課
	1-1-07-2 気軽に相談できるような場所(安心して相談できる対応)の提供	・家庭児童相談室に家庭相談員を配置している。	こどもみらい課
	1-1-07-3 主任児童委員の研修育成	・20年度は未実施。	こどもみらい課

区分		取り組み内容(H17～H21)		平成20年度実績	担当課
1-2.保育サービスの充実	1-2-1.通常保育の柔軟な対応	1-2-01-1	暖かくゆとりのある保育(保育士のゆとり・資質向上)	・市内保育士の合同研修の実施。(幼児施設連絡会主催)	こどもみらい課
		1-2-01-2	待機児童の解消	・待機児童は0である。	こどもみらい課
	1-2-2.延長保育への対応	1-2-02-1	延長保育への対応	・延長保育実施園:4園 24,114,000円	こどもみらい課
		1-2-02-2	18:00以降の私立保育所での延長保育の対応(一部3～5年で実施)	・延長保育実施園:4園、月平均利用延人数:63名、補助金額:24,114,000円 ・平成21年度より5園で実施予定	こどもみらい課
	1-2-3.ニーズに合わせた休日保育の導入	1-2-03-1	サービス業に対応した土日の保育(1園)	・未実施(平成23年度～実施予定)	こどもみらい課
	1-2-4.増加するニーズに対応できる放課後児童クラブの充実	1-2-04-1	未実施学校への学童保育の導入	・9箇所のクラブの開設があり、市内全小学校を対象に開設した。	こどもみらい課
		1-2-04-2	緊急時気軽に利用できる学童保育	・通常の保育者のケガ、入院等により緊急に保育が必要な児童を受け入れた。	こどもみらい課
		1-2-04-3	夏休み等の預かり	・短時間パートの保護者の世帯で、長期休暇中だけの利用希望者の受入れをした。	こどもみらい課
		1-2-04-4	学童保育の充実	・指導員研修を年12回実施した。	こどもみらい課
	1-2-5.気軽に利用できる一時保育体制の強化(9園)	1-2-05-1	一時保育所の追加	・合計10園で実施した。延人員:1,196人	こどもみらい課
		1-2-05-2	気軽に利用できる一時保育	・利用の理由を制限せず保育園の都合さえ合えば申請を受理した。	こどもみらい課
		1-2-05-3	緊急時に利用できる一時保育	・前日の申込みでも保育園の都合さえ合えば申請を受理した。	こどもみらい課
		1-2-05-4	リフレッシュのための一時保育	・前日の申込みでも保育園の都合さえ合えば申請を受理した。	こどもみらい課
	1-2-6.ファミリーサポートセンターのピー・アールと利用促進	1-2-06-1	ファミリーサポートのピー・アール(ホームページ等)	・相談に来る保護者へパンフレット等を配布した。利用拡張のため、児童手当現況届会場や、公的機関にポスターを掲示した。	こどもみらい課
1-2-06-2		ファミリーサポート受け入れ側の人員の育成。依頼者の募集・登録(掛川広域で対応)	・会員状況・・・提供会員:3名、依頼会員 26名	こどもみらい課	

区分	取り組み内容(H17～H21)	平成20年度実績	担当課	
1-2-7.地域子育て支援センターの機能強化	1-2-07-1 地域子育て支援センターの機能強化	・相談業務のほか、移動子育て支援センター「すくすくひろば」を開催した。 【きくがわ】相談業務(電話13件、来館相談129件) 子育て及び子育て支援に関する講習(17回:595人) 公民館等に出向いての地域支援活動「すくすくひろば」(40回:1206人) 【おがさ】相談業務(電話5件、来館相談277件) 子育て及び子育て支援に関する講習(22回:702人)	こどもみらい課 子育て支援センター	
	1-2-07-2 小学生への対応	・未実施 子育て支援センターの対象年齢は0から2歳(未就園)児及びその親対象である。小学生対応事業は児童館が担っている。(児童館は対象年齢0から18歳児童)	こどもみらい課 子育て支援センター	
1-3.子育て支援のネットワークづくり	1-3-1.子育てサークル(母親クラブ)の充実	1-3-01-1 補助金交付による活動の充実	・市内3団体の申請より補助金 378,000円を交付した。(会員総数:60名)	こどもみらい課 児童館
		1-3-01-2 子育て支援情報の提供	・子育て情報ナビを作成し、窓口や市内各施設等に配布した。また、市内児童館情報専用コーナーを設け、保育園・幼稚園情報等を提供した。	こどもみらい課
	1-3-2.地区センターや地域の公民館など既存施設の活用	1-3-02-1 地区センターや地域の公民館など既存施設の活用	・子育て支援センターによる「すくすくひろば」を行う場所として地区センターを貸し出した。	地域支援課

2. 「明るく元気な子を産み育てられるまち」(母性、乳児及び幼児等の健康の増進)

区分	取り組み内容(H17～H21)	平成20年度実績	担当課	
2-1.子どもや母親の健康の確保	2-1-1.子どもや母親の心のケア	2-1-01-1 不妊治療に対する医療費助成(県事業)	・県事業の周知・案内の実施。	健康福祉課
		2-1-01-2 妊婦健診の助成	・個別健康診査方式で、受診券を発行し、各委託医療機関への受診を勧めた。平成20年度から助成機会を5回に増加。 1回目受診率101.3%、2回目受診率92.3%、3回目受診率101.1%、4回目受診率96.5%、5回目受診率86.4%	健康福祉課
	2-1-2.健診や予防接種での配慮	2-1-02-1 お知らせをホームページに掲載(再掲)	・ホームページに各健診・相談等の日程を掲載した。	健康福祉課
		2-1-02-2 予防接種の集団接種・個別接種	・ポリオは集団接種、その他は個別接種で実施。 予防接種法改正により、麻しん・風しん(MR)予防接種接種が、第3期(中1)と第4期(高3)が追加で接種するようになった。 平均予防接種率:87~100%	健康福祉課

	区分	取り組み内容(H17～H21)	平成20年度実績	担当課
	2-1-3.訪問サービスと保健師の資質向上	2-1-03-1 乳幼児家庭への家庭訪問	・外国人以外での全件乳児訪問を目指して実施した。また、乳児訪問時に兄弟の幼児について様子を確認したり、相談を実施した。(新生児4件、乳児377件、未熟児3件、幼児199件、療育関係5件)	健康福祉課
		2-1-03-2 保健師の資質向上	・担当ケースの処遇等について共有して話し合いをもった。研修等へも参加した。 母子関連の会議等に43回参加した。	健康福祉課
2-2.食育の推進	2-2-1.食育指導の実施	2-2-01-1 参加の呼びかけ、料理教室、離乳食教室、食育講演会など	・離乳食教室を12回実施。(出席率37.0%) ・7か月児相談での試食・集団指導の実施。(478人)個別の離乳食指導は54.2%実施した。 ・2歳6か月児健診では、幼児向けの食育エプロンシアターを444組に実施。 ・児童館等と共催の料理教室は15回実施。 ・北小こども教室15回実施	健康福祉課
		2-2-01-2 参観会等での食育指導	・市内の希望する小学校に6回実施。 ・放課後児童クラブへの支援を2回実施。	健康福祉課
2-3.子どもを取り巻く健康被害の防止	2-3-1.母体と子どもの保護	2-3-01-1 母親の飲酒、喫煙などに対する指導、受動喫煙、胎児への影響などを指導	・母子手帳交付時にアンケートにて喫煙の有無を聞き取り指導を実施。	健康福祉課
		2-3-01-2 子どもの前でたばこを吸わないよう指導	・幼児健診・相談の個別指導の場で指導を継続して実施した。	健康福祉課
	2-3-2.公的な場所等での分煙	2-3-02-1 公的な場所等での分煙	・市役所等公共施設での分煙を実施した。	健康福祉課
	2-3-3.公園、スポーツ施設等の分煙	2-3-03-1 公園、スポーツ施設等の分煙	・体育館内禁煙表示を施設内に設置(表示)し、灰皿等を回収。喫煙場所として、建物外に灰皿を設置し、管内喫煙の撲滅を図った。(施設管理課)	健康福祉課 施設管理課
2-4.小児医療の充実	2-4-1.産科医の確保	2-4-01-1 産科医の確保	・産婦人科医院 1医療機関 ・市立病院産婦人科 2名の常勤と非常勤で対応	病院
	2-4-2.小児科の確保	2-4-02-1 小児科の確保	・小児科医院 6医療機関 ・市立病院小児科 2名の常勤と非常勤で対応	病院
	2-4-3.夜間救急医療体制の充実	2-4-03-1 夜間救急医療体制の充実	・医師会の夜間救急医療体制を広報に掲載。 ・市立病院で夜間救急患者の受け入れ。 ・コンビニ受診の抑制啓蒙	病院
	2-4-4.子どもの健康状態に対応した助成の充実	2-4-04-1 乳幼児医療費等の支援(就学前まで)	・小学校就学前までの児童の医療費の一部を助成。 H20扶助費: 71,361,145円 件数: 56,377件	こどもみらい課
2-4-04-2 小児慢性特定疾患児に対する日常生活用具の給付		・平成20年度は実績なし	こどもみらい課	

3. 「子どもがいきいきと学びあえるまち」（子どもの心身のすこやかな成長に向けた教育環境の整備）

区分	取り組み内容(H17～H21)	平成20年度実績	担当課	
3-1.次代の親教育	3-1-1.次代の親へ結婚、出産、育児の楽しさを伝える教育の導入	3-1-01-1 妊娠期間中の親育て講座の開催	・プレママサロン及びプレママ・パパサロンの実施(年間12回、延145人参加)	健康福祉課
		3-1-01-2 プレママ・プレパパサロンでの父親の子育て参加指導	・プレママ・パパサロンの実施(年間3回、29組58人参加)	健康福祉課
	3-1-2.乳幼児と小中高生のふれあいの機会提供による時代の親づくり	3-1-02-1 ボランティアや職業体験などでの保育所、幼稚園訪問	中学校家庭科の保育領域や体験学習での保育体験、小学校での生活科、総合的な学習の時間での園交流を実施した。	学校教育課
3-2.家庭や地域の教育力の向上	3-2-1.育児の大変さ以上に楽しさを感じられるような親の意識改革	3-2-01-1 子育ての楽しさを知る機会の提供	・療育教室「げんきっこ」を27回実施。利用必要者が増加したため、1月から1グループ別日に5回実施した。延参加者数：318人 ・離乳食教室での託児。実施回数12回、託児105人。 ・健診、健康相談などの育児相談時には個々の対応に努めた。 ・児童館・子育て支援センター等からの依頼で、子育てについての学習や啓発を行い、子育ての楽しさや重要性等について学び合う機会を設けた。(健康福祉課) ・学級・学年懇談会において、子育てや子どもの成長についての学習会や情報交換を行った。また、子育ての悩みについて相談できる教育相談を実施した。(学校教育課)	健康福祉課 学校教育課
		3-2-01-2 子どものしつけについての学習の機会(健診時個別相談で対応)	・健診時の個別相談にて個々に合った指導を実施。	健康福祉課
		3-2-01-3 子どものしつけについての学習の機会(教育講演会・2歳児子育て教室)	・実施なし	健康福祉課
		3-2-01-4 家庭教育学級の参加促進(子育てや子どもへのしつけ以前に親育てが必要)	・家庭教育の知識や親の役割を学習する機会の提供・家庭教育学級推進事業(通年/幼・保・小・中27学級)	社会教育課
	3-2-2.時代と共に移り変わる育児方法を祖父母世代へピー・アール	3-2-02-1 最近の子育ての仕方、食育、孫との接し方、怪我や病気への対応、子どもの発する救難信号の見分け方などについて指導する。(女性の会、寿大学などでの提供)	・健診時の個別相談や健康相談等で個々に合った指導を実施。 ・子育て支援センターや児童館主催で子育てや食育の講話・実習を実施した。「子育て講座」4回72人、「コロコロタイム」4回60人、「親子クッキング」5回100人、「児童館クッキング」3回113人 (健康福祉課)	健康福祉課 社会教育課

区分	取り組み内容(H17～H21)	平成20年度実績	担当課	
3-2-3.子どもが地域活動に関わる子ども会の確立	3-2-03-1 子どものボランティア体験など	・ボランティア活動推進事業:ボランティア活動センター設置、受入施設(福祉施設、幼稚園、保育園等)58箇所、小・中・高22校と連携し、児童・生徒が各種ボランティア活動に参加した。(延参加人数2,781人)	社会教育課	
3-2-4.季節に応じた行事開催による体験の場の提供	3-2-04-1 季節に応じた行事開催による体験の場の提供	・わくわく体験セミナー(8/23～8/25、静岡県立朝霧野外活動センター、小・中学生38名参加、宿泊体験・野外炊飯・サイクリング・酪農体験等) ・地域文化体験教室 夏冬2回開催 延参加人数夏24人・冬52人	社会教育課	
	3-2-04-2 子どもに遊びを教える大人の養成	・放課後子ども教室推進事業 放課後の学校施設を活用し、地域住民と子どもたちの交流活動を推進し、119名のボランティアが参加した。 (4教室/159回/参加児童418人)	社会教育課	
3-3.子どもの生きる力の育成に向けた学校教育環境の整備	3-3-1.成長の基礎を作る幼児教育の充実	3-3-01-1 幼稚園の預かり保育	・私立園2園で実施 中央幼稚園:15:00～17:30 15分/50円 長期休暇中も実施(H19～実施) 堀之内幼稚園:降園～16:30 1時間/200円 長期休暇中も実施(H20～実施)(こどもみらい課) ・公立幼稚園においては、検討中。(学校教育課、こどもみらい課)	学校教育課 こどもみらい課
	3-3-01-2 幼稚園での学校行事に伴う一時保育	・私立園2園で実施 就園児の兄弟の預かり保育は園と要相談 保育園の緊急一時保育制度を利用(こどもみらい課) ・公立幼稚園においては、検討中。(学校教育課、こどもみらい課)	学校教育課 こどもみらい課	
	3-3-01-3 保護者を中心とした家庭での教育推進	・教育講演会や懇談会等において、家庭教育をテーマに掲げ、学習の機会を設けるなど家庭教育の推進に努めた。また、インターネットや携帯電話の普及に伴い、情報の扱い等について、リーフレットやDVDを活用して、児童生徒や保護者に訴えた。	学校教育課	
	3-3-01-4 地域社会との連携	・教科学習や総合的な学習の時間に地域素材を取り上げ、地域の方を講師として招いたり、児童生徒が地域に出て体験をしたりする学習を行った。児童生徒の地域の行事や活動への積極的な参加を勧めた。	学校教育課	
	3-3-01-5 行政による幼児教育への関わり	・「幼児施設連絡会」で市内の幼稚園教諭、保育士の資質向上を図った。	こどもみらい課	
	3-3-2.保護者を中心とした家庭での教育を推進	3-3-02-1 保護者を中心とした家庭での教育を推進	・教育講演会や懇談会等において、家庭教育をテーマに掲げ、学習の機会を設けるなど家庭教育の推進に努めた。また、インターネットや携帯電話の普及に伴い、情報の扱い等について、リーフレットやDVDを活用して、児童生徒や保護者に訴えた。	学校教育課

区分	取り組み内容(H17～H21)	平成20年度実績	担当課
3-3-3.地域社会と連携した幼稚園づくり	3-3-03-1 地域社会と連携した幼稚園づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園に地域の方々を招いたり、地域の自然や人とかかわる活動したり、地域との一体化を図っている。特に、園行事においては、地域との連携はより強い。(学校教育課) ・老人クラブ等高齢者との交流及び家庭・地域・関係機関と連携した園の安全推進事業を行った。(こどもみらい課) 	学校教育課 こどもみらい課
3-3-4.公私幼稚園、保育園・小学校などとの連携強化	3-3-04-1 公私幼稚園、保育園・小学校などとの連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園、小学校、中学校の連絡会を実施した。また、入学・進学等に当たっては、保・幼・小の連絡会や小・中連絡会を実施し、連携を密にした。また、幼稚園と小学校においては、園児・児童との交流活動を行ったり、中学生が保育園にて保育体験を行ったりして交流をしている。(学校教育課) ・幼児教育の推進及び市内の幼稚園教諭、保育士の資質向上を図るため「幼児施設連絡会」で、実技研修や情報交換を行った。(こどもみらい課) 	学校教育課 こどもみらい課
3-3-5.幼保一元化の検討	3-3-05-1 幼保一元化の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園入園や幼稚園入園手続きの窓口を一元化し市民の利便性が図られた。(こどもみらい課) 	学校教育課 こどもみらい課
3-3-6.だれからも信頼される学校づくりだれからも信頼される学校づくり	3-3-06-1 だれからも信頼される学校づくりだれからも信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学校活動の様子や教育方針を広く地域や保護者に理解してもらえるように、学校便りやPTA総会にて説明をしたり学校公開等を実施したりしている。また、学校評議員から意見をいただいたり、保護者等のアンケート・評価を実施したりして、理解と協力を求めている。 	学校教育課
3-3-7.基礎基本をしっかりと学べる教育の充実	3-3-07-1 基礎基本をしっかりと学べる教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の校内研修では授業改善に重点を置いている。授業公開による研究、外部講師招聘による力量向上を図るなど積極的に取り組んでいる。また、研修の日常化を進め、研修主任や学びづくり部長(学校により名称は異なる)などによって、学習ルールなどの定着も図っている。 	学校教育課
3-3-8.豊かな感性と健やかな心の育成	3-3-08-1 豊かな感性と健やかな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校や問題行動、いじめへの対応のため、全職員による子ども理解を進めた。また特別支援教育対象児の理解にも努めた。 	学校教育課

区分	取り組み内容(H17～H21)	平成20年度実績	担当課
3-3-9.家庭・地域社会と連携を密にした開かれた学校の推進	3-3-09-1 家庭・地域社会と連携を密にした開かれた学校の推進	・開かれた学校を目標に、①「内から外へ」向けて、情報の発信(おたより、ホームページの立ち上げ・更新、地域ボランティア等)、②「外から内へ」向けて、地域人材の活用、授業公開等に努めた。	学校教育課
3-3-10.社会情勢の変化に対応していく学校	3-3-10-1 社会情勢の変化に対応していく学校	①外国籍人口の増加→外国人初期支援教室の開設、外国人支援員の配置、②特別支援教育→巡回相談、教育相談の実施による早期発見・早期指導、③情報管理、情報活用→授業での指導、菊川市ICT推進委員による指導モデルの提示 以上の実施を図った。	学校教育課
3-3-11.児童、生徒の心のケア	3-3-11-1 思春期の悩み、いじめ・不登校、進学など多くの悩みに対応する体制・サービス	・心の相談員の配置(各中学校に1人ずつ)、スクールカウンセラーの小学校への派遣、教育相談の開設など、保護者からの相談に対して常時対応できる環境を整えた。	学校教育課
	3-3-11-2 色々な悩み、相談についてメールでの対応	・未実施	学校教育課
	3-3-11-3 教育相談員の研修(小中学校)	・各校の中核となる特別支援教育コーディネーターに、事例研究や保護者の悩み相談対応、支援の方法についての研修を実施した。	学校教育課
	3-3-11-4 スクールカウンセラーの活用	・年間を通じて、計画的に同じカウンセラーが派遣され、相談業務を行うことを実現し、児童生徒や保護者とカウンセラーとの人間関係が向上し、より充実した相談がなされるようになった。	学校教育課
	3-3-11-5 家庭児童相談室との連携	・要保護児童対策地域協議会と、必要に応じてケース会議に出席している。(こどもみらい課)	学校教育課 こどもみらい課
3-3-12.子どもたちの心が豊かになるような土日の過ごし方提案	3-3-12-1 自然体験やボランティア体験などの機会の提供	・ボランティア活動推進事業:ボランティア活動センター設置(延参加人数2,781人) ・地域文化体験教室 夏冬2回開催 延参加人数夏24人・冬52人 ・わくわく体験セミナー(8/23～8/25、静岡県立朝霧野外活動センター、小・中学生38名参加、宿泊体験・野外炊飯・サイクリング・酪農体験等) ※再掲3-2-3、3-2-4(社会教育課)	学校教育課 社会教育課

区分		取り組み内容(H17～H21)		平成20年度実績	担当課
3-4.思春期保健対策	3-4-1.思春期の心のケア	3-4-01-1	思春期の心のケア	<ul style="list-style-type: none"> ・県のスクールカウンセラーの全校配置、中学校に心の相談員を配置するとともに、教育相談室に2名の相談員を配置し、相談体制を充実させた。 ・成人式で、性病予防のパンフレットを配布した。(学校教育課) ・エイズ予防の啓発として、両図書館でポスター等の展示をした。(健康福祉課) 	健康福祉課 学校教育課
		3-4-01-2	思春期講座	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育科の授業や学級活動及び道徳において、心と体の成長や第二次性徴等について指導を行った。(学校教育課) ・六郷小から5年生に対しての「命の学習」についての講話依頼があり、72人に実施した。(健康福祉課) 	健康福祉課 学校教育課
	3-4-2.乳幼児とのふれあい機会の提供	3-4-02-1	総合的な学習の時間ならびにボランティア体験などの機会に保育所等で乳幼児とのふれあいの機会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生参加の赤ちゃん交流事業を児童館が実施した。延15人が参加した。 	こどもみらい課 児童館
3-5.児童の健全育成	3-5-1.青少年健全育成の推進	3-5-01-1	次代を担う心豊かで健全な青少年の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成市民会議各支部活動推進 8支部 ・人づくりフェスタ開催(11/15:アエル:164人参加) ・青少年街頭生活指導(7/18:63人、12/19:60人) ・青少年を非行から守るキャンペーン(7/1:菊川駅:90人) ・青少年声かけ運動参加促進(121人が新規に参加) 	社会教育課
		3-5-01-2	家庭における教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の日啓発同報無線(毎月第3土曜日) ・テレビ寺子屋公開録画(9/25:アエル:150人)(社会教育課) ・ブックスタート事業:479名:年12回 ・読み聞かせ活動の推進・・・おはなし会の開催年間延べ:1,718人(両図書館)、親子読書の集い:6/28:650人(図書館) 	社会教育課 図書館
		3-5-01-3	芸術・文化活動の振興・保護・活用に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・写生大会 5/25:応募人数:358名:事業費14,420円(雨天中止) ・美術展 9/20～28:出品110点:来場者946名:300,000円 ・文化祭 11/1～2:芸能39団体:作品29団体:来場者3000人:950,000円 ・書初展 1/31～2/1:出品2,344点:来場者1250名:145,000円 ・夏休みゆかいな体験講座(文化協会主催事業)7/30～8/3:参加人数:93名:61,970円 ・その他文化活動支援 	社会教育課
		3-5-01-4	生涯スポーツの奨励と、健康で活力あふれる人づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市スポーツ少年団交流会(3/14:185人:250,000円) ・第4回市長旗少年野球大会(4/6:9チーム:45,000円) ・少年野球第33回選抜菊川大会(11/16,22,23:32チーム:100,000円) ・第25回市長杯小学生バレーボール大会(4/27:36チーム:45,000円) ・スポーツレクリエーションフェスティバル(11/9:495人:284,342円) 	社会教育課
	3-5-2.子ども会活動の充実	3-5-02-1	子ども会活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・危険予知トレーニング応急手当講習会(7/20:140人参加),ドッチボール大会(7/6:総合体育館:296人),ウォークラリー(11/30:菊川運動公園:120人) 	社会教育課

4. 「子どもが伸びやかに育つまち」（子育てを支援する生活環境の整備）

区分		取り組み内容(H17～H21)		平成20年度実績	担当課
4-1.良好な居住環境の確保	4-1-1.生活環境整備による子育てしやすいまちづくりの推進	4-1-01-1	生活環境整備による子育てしやすいまちづくりの推進	・潮海寺地区計画道路4-2-4-3号線(L=230m)の道路改良工事をおこなった(都市計画課) ・通学路(赤土線・牛淵谷田部線)において歩道設置をおこなった。(建設課)	都市計画課 建設課
		4-1-01-2	安心して外で遊べる環境づくり	・潮海寺地区防災公園第1(A=860m ²)の造成工事をおこなった。H21に施設整備をおこなう。(都市計画課) ・駅南土地区画整理事業地区内 中央通り線に自転車専用通行帯を設置した(区画整理室) ・生活関連道路改良整備を推進した(建設課) ・街路樹の管理や舗装整備、桜つつみの維持管理を行い安心・安全な環境づくりを行った。(建設課)	都市計画課 建設課
		4-1-01-3	公共トイレなどの改善	・公共施設の増改築時には、ハートビル法及び福祉のまちづくり県条例等に適合するよう努めた。(都市計画課)	都市計画課
4-2.安全な道路交通環境の整備	4-2-1.道路の整備(安心して歩ける環境)	4-2-01-1	ガードレール、防護柵の整備	・道路からの転落防止のためガードレールや転落防止柵を設置して安心して生活できる環境づくりに推進した。ガードレール・転落防止柵等L=551.3m、道路区画線28.4km、交通事故防止の推進を図った。 ・通学路や道路の交差点における歩行者の安全を確保するためカーブミラーを設置した。(21基)	建設課
	4-2-2.街灯の設置	4-2-02-1	防犯灯の整備	・夜間歩行者が安心して通行できる環境(犯罪抑止)づくりのため、自治会より申請いただいた箇所を審査し、防犯灯の設置を実施。(66灯設置)	安全課
4-3.安全、安心なまちづくりの整備推進等	4-3-1.身近で遊べる公園の充実	4-3-01-1	身近で遊べる公園の充実	・自治会管理の児童遊園の遊具設置、撤去、修繕に対し補助金交付。1自治会:100,000円	こどもみらい課
		4-3-01-2	公園の整備	・潮海寺地区計画道路4-1号線沿いにホッケットパーク(A=25m ²)の整備をおこなった(都市計画課) ・南部第二土地区画整理事業地区内公園2箇所(舟岡山公園A=10,100m ² ・海足公園A=2,000m ²)を整備した(区画整理室)	都市計画課 区画整理室
		4-3-01-3	既存公園の遊具の安全対策	・委託料 613,200円(都市公園等遊具点検:28公園・219基・点検6回/年、都市公園等砂場大腸菌検査:9公園 検査1回/年)、修繕 387,030円(5公園・8基)(施設管理課) ・自治会管理の児童遊園の遊具設置、撤去、修繕に対し補助金交付。1自治会:100,000円(こどもみらい課)	施設管理課 こどもみらい課

区分	取り組み内容(H17～H21)	平成20年度実績	担当課
4-3-2.児童館の充実	4-3-02-1 行事の開催日数(同様の講座を数回開催する)と募集人員の増加	・人気のある講座は同様の講座を2回開催。	こどもみらい課 児童館
	4-3-02-2 気軽に利用できるような体制づくりと職員のフォロー	・「児童館だより」の配付により利用者にPRした。	こどもみらい課 児童館
	4-3-02-3 小学生への対応	・土曜日を利用し遊び・体験の教室を開催。 ・長期休暇を利用した教室の開催。 ・小学生対象のボランティアサークルの開催。	こどもみらい課 児童館
4-3-3.図書館	4-3-03-1 子どもコーナーの充実	・児童書の購入(両館)による蔵書数の増 H19年度末:56,776冊 → H20年度末:59,487冊(+2,711冊)	図書館

5. 「子どもの安全を地域みんなで見守るまち」(子どもの安全の確保)

区分	取り組み内容(H17～H21)	平成20年度実績	担当課
5-1.子どもの交通安全を確保するための活動の推進	5-1-1.子どもへの声かけ等、地域で見守る安全対策	・四季の交通安全運動期間中に市内主要交差点や通学路(計47箇所)などで交通指導員による交通指導を行なった。また、年間通じ学校や幼稚園、保育所などで交通安全教室を開催し、交通安全指導を行なった。(安全課) ・県及び市でスクールガードリーダーを3名配置し、それぞれ3小学校を担当し、下校時を中心に巡回している。さらに各学校ではスクールガードを地域や保護者に依頼し、児童生徒が安全に登下校できるよう体制を整えた。(学校教育課)	安全課 学校教育課
	5-1-2.事故を未然に防ぐ安全運転ピー・アール	・警察署などと連携し、運転手へ安全運転の意識が高まるよう啓発・活動し、交通安全を呼びかけた。	安全課
	5-1-3.通学路の安全確保	・PTAや自治会を中心に通学路等の交通安全点検に取り組み、危険箇所については警察署及び各関係機関と協議し対応した。(安全課) ・全小学校で5年生や6年生の登校リーダーを中心に、PTAや警察、市の安全課を交えて安全な登下校を実現するための話し合いを行っており、成果を上げている。また、危険箇所については、PTAにより看板を立てたり、地区への呼びかけをしたりした。(学校教育課)	安全課 学校教育課
5-2.子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	5-2-1.声かけ運動の推進	・引き続き「ふれ愛さつ運動」を展開している。市のPTA連絡協議会の組織を中心に展開し、声かけの輪が広がっている。	学校教育課
	5-2-2.スクールガード・わんわんパトロールの全地域への普及	・県及び市でスクールガードリーダーを3名配置し、それぞれ3小学校を担当し、下校時を中心に巡回している。さらに各学校ではスクールガードを地域や保護者に依頼し、児童生徒が安全に登下校できるよう体制を整えた。	学校教育課
	5-2-3.学校の安全対策強化	・各学校では校舎や遊具、教材・教具などに危険がないか、日頃から点検をしている。月に1回「安全点検」を実施し、それぞれの担当箇所についてその状況を記録し、必要に応じて補修、撤去している。 ・学校訪問者は、必ず受付を通り、訪問者であることがわかるような名札をつけさせている。	学校教育課

6. 「働きながら 安心して子育てできるまち」（職業生活と家庭生活との両立の推進）

区分		取り組み内容(H17～H21)		平成20年度実績	担当課
6-1.多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し等	6-1-1.企業が子育て夫婦に対して理解を示せる体制づくり	6-1-01-1	企業への働きかけ	・啓発ポスターの掲示・パンフレット配架、広報掲載による周知。 ・企業あてメールによるセミナー等開催の通知(商工観光課)	商工観光課 こどもみらい課
		6-1-01-2	育児休暇取りやすい環境づくり	・啓発ポスターの掲示・パンフレット配架によるの周知。 (商工観光課)	商工観光課 こどもみらい課
	6-1-2.父親の子育て参加への呼びかけ(男女共同参画社会)	6-1-02-1	母子健康手帳交付時に父親の参加への呼びかけ	・母子手帳交付時に「お父さんの子育て手帳」の配布を行った。 ・プレママ・パパサロンのちらしの配布と参加の勧めを行った。	健康福祉課
		6-1-02-2	両親教室の開催	・プレママ・パパサロンの実施・・・赤ちゃん人形を使っての実習:年間3回29組58人参加	健康福祉課
6-2.仕事と子育ての両立の推進	6-2-1.企業が配慮する、仕事と子育てを両立する女性への子育て支援	6-2-01-1	女性の労働環境の整備	・啓発ポスターの掲示・パンフレット配架によるの周知。 (商工観光課)	商工観光課 企画政策課
		6-2-01-2	保育支援体制の充実	・啓発ポスターの掲示・パンフレット配架、広報掲載によるセミナー等の周知。	こどもみらい課
	6-2-2.増加するニーズに対応できる放課後児童クラブの充実(再掲)	6-2-02-1	未実施学校への学童保育の導入	・市内全校対象に9箇所開設。	こどもみらい課
		6-2-02-2	緊急時気軽に利用できる学童保育	・通常の保育者のケガ、入院等により緊急に保育が必要な児童の受入れが可能。	こどもみらい課
		6-2-02-3	夏休み等の預かり	・短時間パートの保護者の世帯で、長期休暇中だけの利用希望者の受入れをした。	こどもみらい課
		6-2-02-4	学童保育の充実	・指導員研修を年12回実施した。	こどもみらい課

7. 「子どもの権利を大切にすまち」（要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進）

区分		取り組み内容(H17～H21)		平成20年度実績	担当課
7-1.児童虐待防止対策の充実	7-1-1.虐待防止対策強化と発見時の対応ピー・アール	7-1-01-1	虐待防止対策強化と発見時の対応ピー・アール	・要保護児童対策地域協議会の開催。(代表者会議:1回、実務者会議:7回、個別ケース検討会:195ケース) ・虐待防止月間に広報に虐待予防の記事を掲載。	こどもみらい課
	7-1-2.相談体制と保護の確立	7-1-02-1	相談体制と保護の確立	・要保護児童対策地域協議会の開催。(代表者会議:1回、実務者会議:7回、個別ケース検討会:195ケース) ・虐待防止月間に広報に虐待予防の記事を掲載。	こどもみらい課
7-2.ひとり親家庭等の自立支援の推進	7-2-1.母子家庭の支援	7-2-01-1	母子家庭の支援	・自立支援教育訓練給付(支給件数:1件、給付額:18,396円)	こどもみらい課
	7-2-2.父子家庭の支援	7-2-02-1	父子家庭の支援	・家庭児童相談の実施	こどもみらい課
7-3.障害児施策の充実	7-3-1.各機関が連携し継続的に支援を行える体制整備と人材育成	7-3-01-1	障害を持つ子の支援と親のネットワークフォロー	・子どもを守るネットワーク(療育)にて関係機関で情報交換を実施。(年2回)	健康福祉課
		7-3-01-2	障害を持つ子どもの早期発見と継続的なケア	・めばえ発達相談員、在宅心理相談員による発達相談を実施。(実施延人数:148名)(健康福祉課、こどもみらい課) ・療育教室「げんきっこ」延318人参加。(健康福祉課) ・0～2歳児について、市内幼稚園・保育園(12園)を年2回、在宅心理相談員と保健師で訪問し、園での様子観察と情報共有を図った。(健康福祉課) ・3～5歳児について、市内幼稚園・保育園(17園)を年2回、在宅心理相談員と保健師で訪問し、支援方針の助言・相談・専門機関等の紹介をした。(こどもみらい課) ・特別支援教育関係者連絡会で、継続支援ケース等について状況確認、今後の支援の方向性を検討した。(年3回 実施延人数:239人)(健康福祉課、こどもみらい課、学校教育課)	健康福祉課 こどもみらい課 学校教育課
		7-3-01-3	障害を持つ子の親への支援、カウンセリング	・療育教室「げんきっこ」の実施 参加延人数:318人 その中で親同士の交流や個別対応により支援を行った。	健康福祉課
		7-3-01-4	障害を持つ子の幼稚園、保育所、小中学校での受け入れ(就学指導員)	・学校や園を対象に特別支援教育巡回相談を実施したり、具体的な対応や支援方法についての職員研修会を実施したりした。また、小中学校に対して、11人の学級・学校支援員を配置した。小学校への入学に当たって、保育園や幼稚園と小学校への見学を実施するなど、連携し就学指導を行った。(学校教育課) ・民間保育園に障がいを持つ子の受入れに対し保育士の加配について補助金の支払いをした。(こどもみらい課)	学校教育課 こどもみらい課
		7-3-01-5	障害を持つ子の放課後の充実と親の負担軽減(心身障害者放課後対策事業)	・たんぽぽ 862回 ・ふれんずつばさ 1,511回	健康福祉課

	区分	取り組み内容(H17～H21)	平成20年度実績	担当課
	7-3-2.心身障害に対する大人の認識を改める	7-3-02-1 心身障害に対する大人の認識を改める	・「発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業」において、幼児・児童の保護者対象に「子育て講演会」を実施し、子育てのアドバイスをはじめ障害等の理解を深めた。	健康福祉課 学校教育課
7-4.要保護・準要保護児童生徒への援助	7-4-1.要保護・準要保護児童生徒が安心して通学できる環境づくり	7-4-01-1 要保護・準要保護児童生徒が安心して通学できる環境づくり	・要保護・準要保護児童生徒の世帯に就学援助費を支給し、小学生73人、中学生50人の学用品費や給食費等の援助を行った。	学校教育課
		7-4-01-2 要保護・準要保護児童への支援	・要保護・準要保護児童生徒の世帯に就学援助費を支給し、小学生73人、中学生50人の学用品費や給食費等の援助を行った。	学校教育課

8. 「温かなサービスで子どもを産みたくなるまち」（各種支援サービス）

	区分	取り組み内容(H17～H21)	平成20年度実績	担当課
8-1.経済的な支援	8-1-1.各種経済的補助の充実	8-1-01-1 児童手当	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児福祉手当件数:284件 ・重度心身障害児扶養手当件数:137件 ・特別児童扶養手当（障害児に対する手当）:202件（健康福祉課） ・被用者児童手当（年度末延受給者数:2,959名、支給額:119,470,000円） ・非被用者児童手当（855名、34,145,000円） ・特例給付（70名、2,660,000円） ・被用者小学校修了前特例給付（6,179名、202,565,000円） ・非被用者小学校修了前特例給付（1,819名、57,820,000円）（こどもみらい課） 	健康福祉課 こどもみらい課
		8-1-01-2 経済的な支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就園支援のため私立幼稚園への就園奨励費を補助。 対象人数:324人、補助額:23,919,700円（内訳＝堀之内幼稚園:184名:13,887,400円、中央幼稚園:139名:9,973,100円、智光幼稚園:1名:59,200円）（こどもみらい課） ・子育て優待カード事業実施。（こどもみらい課） 	関係各課
8-2.行政サービスの充実	8-2-1.市民が気軽にサービスを利用できる環境をつくる	8-2-01-1 職員資質の向上	・子育て支援を積極的に取り組む組織として「こどもみらい課」の子育て企画相談部門に職員の重点的な配置を行い、子育てに関する相談等への対応力の向上に努めた。	総務課

特定14項目の実施状況(～平成20年度)

特定14項目とは、市町村が推進する次世代育成支援事業のうち、国が指定する14項目の保育サービス等の事業メニューです。特定14項目については、具体的な数値目標を設定し、毎年の実施状況を公表することが義務付けられています。なお、14項目すべての実施が必須ではなく、市町村が選択できるものです。菊川市では、現在5項目を指定しています。

	事業名	事業内容	単位	目標値	実績値					
				21年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
①	通常保育事業	市内保育園10園（市立1園、私立9園）で実施中	児童数 ※	人 1,050	人 1,004	人 1,049	人 1,064	人 1,053	人 1,096	人
②	延長保育事業	3か所で実施中	箇所数	4箇所	3箇所	3箇所	3箇所	4箇所	4箇所	箇所
③	一時保育事業	保護者の労働、病気等により家庭で養育できない児童に対して、保育園等で一時的に児童の保育を行う	箇所数	10箇所	7箇所	7箇所	10箇所	10箇所	10箇所	箇所
④	放課後児童健全育成事業（学童保育）	両親が共働き等で保護者がいない家庭の児童の放課後の安全確保と健全育成を目的に行う	箇所数	6箇所	4箇所	5箇所	8箇所	8箇所	9箇所	箇所
⑤	地域子育て支援センター事業	子育ての不安等についての相談、子育てサークルへの支援及び気軽に集い、交流できる場の提供等地域の子育て家庭に対して支援を行う	箇所数	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	箇所

※通常保育事業の実績値（保育園入園児数）は、毎年度3月1日現在人数。ただし、市内在住児童の市内及び市外保育園入園数。

※上記以外の特定14項目	夜間保育事業、休日保育事業、特定保育事業、乳幼児健康支援一時預かり事業派遣型（病後児保育）、乳幼児健康支援一時預かり事業施設型（病後児保育）、子育て短期支援事業（ショートステイ）、子育て短期支援事業（トワイライトステイ）、ファミリーサポートセンター事業、つどいの広場事業
--------------	---

【資料】幼稚園・保育園データ

◆保育所入所状況

平成20年度末(平成21年3月1日現在)

		入所児童数(下段は市外からの広域入所)							合計	定員	充足率※	備考																				
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計																								
私立	菊川保育園	7	22	11	28	21	31	120	126	110	1.09																					
		1	0	1	1	2	1	6																								
	愛育保育園	13	13	24	19	20	17	106	113	90	1.18																					
		0	2	1	1	2	1	7																								
	横地保育園	9	22	29	23	29	25	137	144	120	1.14																					
		1	2	1	2	0	1	7																								
	西方保育園	2	9	16	25	21	20	93	102	90	1.03																					
		3	1	0	4	1	0	9																								
	河城保育園	6	9	12	17	9	16	69	71	60	1.15																					
	1	0	1	0	0	0	2																									
双葉保育園	13	21	22	27	26	23	132	136	110	1.20																						
	0	0	0	2	1	1	4																									
ひかり保育園	10	11	27	20	18	17	103	106	90	1.14																						
	0	0	1	1	0	1	3																									
ひがし保育園	9	18	18	17	17	20	99	104	90	1.10																						
	0	2	1	1	0	1	5																									
みなみ保育園	10	11	20	18	15	12	86	98	90	0.96																						
	1	2	3	2	2	2	12																									
市立	内田保育園	8	12	13	27	20	31	111	115	90	1.23																					
		0	1	1	0	1	4																									
①小計(市内10園)		87	148	192	221	196	212	1056	1115	940	1.12																					
		7	10	10	14	9	9	59																								
組合	牧之原保育園	1	3	3	6	7	9	29	29	(120)	1.00																					
		0	0	0	0	0	0	0																								
②小計(市内10園+牧之原)		88	151	195	227	203	221	1085	1144	969	1.12																					
		7	10	10	14	9	9	59																								
広域外入への所の	笠原保育園	0	0	0	1	0	0	1	11			袋井市																				
	高松保育園	0	1	0	0	0	0	1					1			御前崎市																
	千浜保育園	1	0	0	0	0	0	1									1			掛川市												
	神谷城保育園	1	0	0	0	0	1	2													2			島田市								
	あんり保育園	0	1	0	0	0	0	1																	1			掛川市				
	聖マリア保育園	0	0	1	1	0	1	3																					3			掛川市
	第二ふたば保育園	1	0	0	0	0	1	2																								
(小計)	3	2	1	2	0	3	11																									
③合計		91	153	196	229	203	224	1096	1155	969	1.13																					
		7	10	10	14	9	9	59																								

※充足率(上段=市内在住児の入園児数÷定員、下段=全入園児数÷定員)

◆幼稚園入園状況

平成20年度末(平成21年3月1日現在)

	堀之内	中央	加茂	小笠北	小笠東	小笠南	計
未満	1	18					19
3歳	64	50	40	24	37	9	224
4歳	58	37	27	38	24	18	202
5歳	68	49	26	36	33	17	229
計	191	154	93	98	94	44	674

◆入園率

※入園率=登録人口に占める幼稚園・保育園への入園児童数。

	登録人口(H21.4.1)			入園児童数(H21.3月)			入園率(参考値※)
	①合計	(日本人)	(外国人)	保育園	幼稚園	②保+幼	
0歳	473	427	46	91		91	19.24%
1歳	487	435	52	153		153	31.42%
2歳	453	405	48	196	19	215	47.46%
3歳	478	426	52	229	224	453	94.77%
4歳	505	451	54	203	202	405	80.20%
5歳	460	399	61	224	229	453	98.48%
計	2,856	2,543	313	1,096	674	1,770	61.97%

(注)登録人口=住民基本台帳登録数(日本人)+外国人登録数。国勢調査等の実態調査でのデータより若干多くなる傾向があります。